

## 安全データシート

## ビス（フェニルスルホニル）メタン

改訂日: 2024-01-18 版番号: 1

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品識別子

製品名 : ビス（フェニルスルホニル）メタン  
CB番号 : CB3323979  
CAS : 3406-02-8

## 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途 : 研究開発用途にのみ使用。医薬品、家庭用品、その他の用途には使用しないでください。  
推奨されない用途 : なし

## 会社ID

会社名 : Chemicalbook  
住所 : 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟  
電話 : 010-86108875

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 物理化学的危険性

該当区分なし

## 健康に対する有害性

皮膚腐食性 / 刺激性

区分2

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

区分2A

## 環境に対する有害性

該当区分なし

## ラベル要素

## 絵表示又はシンボル



## 注意喚起語

警告

## 危険有害性情報

強い眼刺激

皮膚刺激

## 注意書き

### [安全対策]

取扱い後は手や顔をよく洗うこと。

保護手袋、保護眼鏡を着用すること。

### [応急措置]

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

---

## 3. 組成及び成分情報

|                |                                                                 |
|----------------|-----------------------------------------------------------------|
| 化学物質 / 混合物の区別: | : 化学物質                                                          |
| 化学名又は一般名:      | : ビス(フェニルスルホニル)メタン                                              |
| 濃度又は濃度範囲:      | : >98.0%(GC)                                                    |
| CAS RN:        | : 3406-02-8                                                     |
| 化学式:           | : C <sub>13</sub> H <sub>12</sub> O <sub>4</sub> S <sub>2</sub> |
| 官報公示整理番号 化審法:  | : 該当なし                                                          |

---

## 4. 応急措置

### 吸入した場合:

は、医師の診断、手当てを受けること。

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時

### 皮膚に付着した場合:

こと。

洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受ける直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。多量の水と石鹼で

### 目に入った場合:

て洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外し

### 飲み込んだ場合:

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。

### 応急措置をする者の保護:

救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

---

## 5. 火災時の措置

### 適切な消火剤：

粉末, 泡, 水噴霧, 二酸化炭素

### 火災時の特定危険有害性：

燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生する恐れがあるので注意する。

### 特有の消火方法：

消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。関係者以外は安全な場所に退去させる。周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

### 消火を行う者の保護：

消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

る。

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止す

個人用保護具を着用する。

### 環境に対する注意事項：

製品が排水路に排出されないよう注意する。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材：

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策：

取扱いは換気のよい場所で行う。適切な保護具を着用する。粉塵が飛散しないように注意する。取扱い後は手や顔などをよく洗う。

#### 注意事項：

粉塵やエアゾールが発生する場合には、局所排気を用いる。

#### 安全取扱い注意事項：

皮膚、眼および衣類との接触を避ける。

保管

適切な保管条件:

容器を密栓して冷暗所に保管する。酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

安全な容器包装材料:

法令の定めるところに従う。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:

作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

管理濃度:

設定されていない。

保護具

呼吸用保護具:

防塵マスク、簡易防塵マスク等。

手の保護具:

保護手袋。

眼、顔面の保護具:

保護眼鏡。状況に応じ保護面。

皮膚及び身体の保護具:

保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

|              |      |
|--------------|------|
| 情報なし         |      |
| 情報なし         |      |
| 情報なし         |      |
| 情報なし         |      |
| 121℃         |      |
| 情報なし         |      |
| 白色 ～ ごくうすい黄色 |      |
| 結晶 ～ 粉末      |      |
| 固体           |      |
| 下限:          | 情報なし |
| 上限:          | 情報なし |
| 情報なし         |      |
| 情報なし         |      |

|          |       |
|----------|-------|
| [水]      | 情報なし  |
| [その他の溶剤] | メタノール |
| 情報なし     |       |
| 情報なし     |       |
| 情報なし     |       |
| 情報なし     |       |

**形状:**

結晶 ～ 粉末

**色:**

白色 ～ ごくうすい黄色

**臭い:**

情報なし

**融点 / 凝固点:**

121℃

**沸点又は初留点及び**

情報なし

**沸騰範囲:**

**可燃性:**

情報なし

**引火点:**

情報なし

**自然発火点:**

情報なし

**爆発下限界及び爆発上限界 /**

**可燃限界**

**下限:**

情報なし

**上限:**

情報なし

**pH:**

情報なし

**動粘性率:**

情報なし

## 溶解度

### [水]

情報なし

### [その他の溶剤]

メタノール

### オクタノール/水分配係数:

情報なし

### 密度及び / 又は

情報なし

### 相対密度 (g/ml):

### 相対ガス密度:

情報なし

### 粒子特性:

情報なし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性:

情報なし

### 化学的安定性:

適切な条件下においては安定。

### 危険有害反応可能性:

特別な反応性は報告されていない。

### 避けるべき条件:

情報なし

### 混触危険物質:

酸化剤

### 危険有害な分解生成物:

二酸化炭素, 一酸化炭素, 硫黄酸化物

---

## 11. 有害性情報

### 急性毒性:

情報なし

皮膚腐食性 / 刺激性:

情報なし

眼に対する重篤な損傷性

情報なし

/ 刺激性:

生殖細胞変異原性:

情報なし

発がん性:

**IARC =**

情報なし

**NTP =**

情報なし

生殖毒性:

情報なし

特定標的臓器毒性

情報なし 情報なし

-短回暴露:

-反復暴露:

誤えん有害性:

情報なし

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性:

魚類:

情報なし

甲殻類:

情報なし

藻類:

情報なし

残留性・分解性:

情報なし

**生体蓄積性(BCF):**

情報なし

**土壤中の移動性**

**オクタノール/水分配係数:**

情報なし

**土壤吸着係数(Koc):**

情報なし

**ヘンリー定数(PaM 3/mol):**

情報なし

**オゾン層への有害性:**

情報なし

---

## 13. 廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。

地方条例や国内規制に従う。

焼却処理する場合には、可燃性溶剤に溶解または混合した後、アフターバーナー及びスクラパーを備えた焼却炉で焼却する。

処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

---

## 14. 輸送上の注意

**国連番号:**

該当なし。

**国連分類:**

国連の分類基準に該当せず。

**輸送の特定の安全対策及び条件:**

運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行之、法令の定めるところに従う。

---

## 15. 適用法令

• 該当なし

---

## 16. その他の情報

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

IMDG: 国際海上危険物

- 【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>
- 【2】化学物質審査規制法（化審法） <https://www.env.go.jp>
- 【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） <https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIIP） <https://www.nite.go.jp/>
- 【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト [http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request\\_locale=en](http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en)
- 【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。